



2025年8月25日

各位

会社名 株式会社REVOLUTION
代表者名 代表取締役社長 砂川 優太郎
(コード番号 8894 東証スタンダード)
問合せ先 代表取締役社長 砂川 優太郎
(TEL. 03-6627-3487)

営業外収益、営業外費用、特別損失の計上並びに2025年10月期中間期業績予想と実績の差異 及び2025年10月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2025年10月期中間期に、連結決算において、営業外収益（業務受託収入）254百万円、営業外費用（支払利息）155百万円、特別損失（のれんの減損損失）152億円、個別決算において関係会社株式評価損160億円を特別損失に計上するとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、2025年4月30日付開示資料「業績予想の修正に関するお知らせ」及び2025年6月23日付開示資料「2025年10月期中間期個別業績予想の修正及び個別決算における特別損失の計上に伴う2025年10月期通期個別業績予想の修正に関するお知らせ」にてお知らせしておりました2025年10月期中間期業績予想と実績に差異が生じ、また、2025年10月期通期業績予想を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 営業外収益（業務受託収入）及び営業外費用（支払利息）の計上について

当社は、2025年10月期中間期に、連結決算において業務受託収入254百万円を計上いたします。これは、当社の連結子会社であるヤマワケエステート株式会社が同社の取引先と2024年10月に不動産特定共同事業（クラウドファンディング事業）におけるコンサルティング業務に関連した業務委託契約を締結し、2025年2月に受領した業務受託収入となります。

また、2024年12月25日付開示資料「株式取得（子会社化）及び資金借入れに関するお知らせ」にて公表している株式会社REVOGINZA1および株式会社REVOGINZA2の連結子会社化に伴う株式取得対価支払いのための93億円の資金借入れ、当社の販売用不動産取得に伴う借入れ及び当社の連結子会社のヤマワケエステート株式会社のクラウドファンドにおける販売用不動産取得に伴う借入れ等の支払利息を2025年10月期中間期に、連結決算において155百万円計上いたします。

2. 特別損失（減損損失）の計上について

2025年4月30日付開示資料「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しておりますWeCapital株式会社グループ等に関するのれん（2025年10月期第1四半期末時点で15,739百万円）の再評価の結果、2025年10月期中間期に、連結決算においてのれんの減損損失152億円を特別損失に計上いたします。

これは、2024年8月のWeCapital株式会社の連結子会社化の際に、想定していた事業計画からWeCapital株式会社グループの実際の業績が大きく乖離していたためです。乖離が発生した主な原因は、WeCapital株式会社グループが組成している不動産クラウドファンド案件について、複数の償還延長及び運用期間延長の事態が発生しており、当初想定していた案件規模の拡大や案件取扱数を増やすことが困難となったためとなります。

なお、WeCapital株式会社の米国NASDAQ上場について、2025年3月27日付開示資料「当社連結子会社WeCapital株式会社グループの業績計画見直しに関するお知らせ」にて、現状を踏まえて検討を停止した上で将来的に最終判断する方針とお知らせしておりましたが、今般、WeCapital株式会社では米国NASDAQ上場の検討を中止とする最終判断をしております。また、WeCapital株式会社では、SPACスキームによる米国

NASDAQ 上場を視野に入れて 2023 年 6 月に株式取得により WeCapital Holdings, Inc. を子会社化しておりましたが、WeCapital Holdings, Inc. は、上記のとおり WeCapital 株式会社では米国 NASDAQ 上場の検討を停止したことなどから、すでに 2025 年 3 月に第三者に対して売却しております。

なお、当該売却に伴って生じた損失 230 百万円は今般ののれんの減損に含有されておりますので売却損としては計上されません。

3. 2025 年 10 月期中間期業績予想と実績の差異

(1) 2025 年 10 月期中間期 (2024 年 11 月 1 日～2025 年 4 月 30 日) の連結業績予想と実績の差異

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,988	△4,026	△4,323	△2,596	△37.63
実 績 (B)	14,251	△3,124	△3,080	△17,141	△148.58
増 減 額 (B - A)	1,263	902	1,243	△14,545	—
増 減 率 (%)	9.7	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (2024 年 10 月期中間期)	400	△189	△193	△196	△0.30

(2) 2025 年 10 月期中間期 (2024 年 11 月 1 日～2025 年 4 月 30 日) の個別業績予想と実績の差異

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	中 間 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	740	△269	△545	△528
実 績 (B)	740	△313	△589	△16,607
増 減 額 (B - A)	—	△44	△44	△16,079
増 減 率 (%)	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (2024 年 10 月期中間期)	394	△189	△192	△194

4. 差異の理由

2025 年 4 月 30 日付開示資料「業績予想の修正に関するお知らせ」にてお知らせしておりました WeCapital 株式会社グループ等に関するのれん (2025 年 10 月期第 1 四半期末時点で 15,739 百万円) の再評価を実施した結果、2025 年 10 月期中間期に、連結決算においてのれんの減損損失 152 億円を特別損失に計上し、これに伴い、個別決算において WeCapital 株式会社株式の価額を実質価額まで切り下げ、関係会社株式評価損 160 億円を特別損失に計上することになったことによります。

また、連結決算において、WeCapital 株式会社グループの売上高が前回予想を上回り営業利益及び経常利益が改善いたしました。これは、前回予想時の想定よりも前倒しで、WeCapital 株式会社グループのクラウドファンディング案件の組成プロセスを厳格化する運営を整え、組成案件を増やし、手数料を増加することができたためとなります。

加えて、一部の案件で償還延長となっているものがありますが、その他の一部の案件においては予想以上の金額で不動産を売却することができたためです。

5. 2025年10月期通期業績予想の修正

(1) 2025年10月期通期(2024年11月1日~2025年10月31日)の連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	35,718	△3,639	△3,959	△3,112	△45.09
今回修正予想(B)	33,584	△4,330	△3,877	△17,255	△149.56
増減額(B-A)	△2,134	△691	82	△14,143	—
増減率(%)	△6.0	—	—	—	—
(参考)前期実績 (2024年10月期)	5,566	333	331	296	4.29

(2) 2025年10月期通期(2024年11月1日~2025年10月31日)の個別業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	6,000	286	280	△5
今回修正予想(B)	3,170	△374	△915	△17,121
増減額(B-A)	△2,830	△660	△1,195	△17,116
増減率(%)	△47.2	—	—	—
(参考)前期実績 (2024年10月期)	5,463	364	360	294

6. 修正の理由

「2. 特別損失(減損損失)の計上について」の特別損失の計上のほか、当社単体においては、2025年7月14日付開示資料「第三者委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」で公表した通り、当社の前代表取締役である新藤弘章氏の拙速な経営判断及び2025年8月8日付開示資料「連結子会社の元代表取締役への訴訟の提起に関するお知らせ」等で公表しているWeCapital株式会社の元代表取締役である松田悠介氏の不法行為等やそれに伴う第三者委員会による調査対応等の影響で販売用不動産の取得が想定以上に停滞し、販売用不動産の売却件数が大きく未達となる見込みとなったことによります。

なお、連結業績予想における経常利益が前回予想と大きく乖離が生じなかった理由は、主にWeCapital株式会社グループにおいてWeCapital株式会社グループが組成しているクラウドファンド案件の劣後出資に関連する分配金及び不動産の売却等が想定以上に営業外収益で計上されたためであって、それが売上高の減少などの影響を軽減しています。

ただし、中間期まではWeCapital株式会社グループの業績改善がありましたが、第3四半期以降でWeCapital株式会社グループで大型のクラウドファンド案件の募集が延長になる見込みとなったため、営業利益及び経常利益においても下方修正となっています。

また、特別損失については上述ののれんの減損損失152億円に加え、2025年8月6日付開示資料「連結子会社における固定資産の譲渡及び特別損失の計上に関するお知らせ」の固定資産売却損388百万円、および2025年8月12日付開示資料「第三者委員会の調査に伴う特別損失の計上に関するお知らせ」の90百万円程度等が含まれています。

個別業績予想における経常利益の大幅な減額は、2024年12月25日付開示資料「株式取得(子会社化)及び資金借入れに関するお知らせ」にて公表している株式会社REVOGINZA1および株式会社REVOGINZA2の連結子会社化に伴う株式取得対価支払いのための93億円の資金借入れ(借入金利2.525%)に関して、当社では、その返済原資について、両社の株式の第三者への譲渡または両社が保有している不動産の売却によって充

当することを見込んでいましたが、株式の第三者への譲渡や保有不動産の売却が上述の新藤弘章氏および松田悠介氏における問題やそれに伴う第三者委員会による調査対応等の影響等によって想定よりも進まずに支払金利が多額に計上される見込みのためとなります。

7. 業績への影響

本日公表の「2025年10月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

8. 当社連結子会社 WeCapital 株式会社グループの2025年9月期の業績計画

当社は、2025年3月14日付開示資料「2025年10月期第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表したクラウドファンディング事業における業績予測等を2025年4月30日に修正しておりました。

今般、4月30日公表分からの推移をお知らせいたします。

（参考：2024年12月20日公表）

	案件数 計画値① (件)	案件数 実績値② (件)	②-① (件)	売上高 計画値③ (百万円)	売上高 実績値④ (百万円)	④-③ (百万円)
第1四半期	45	47	+2	5,356	6,020	+664
第2四半期	69	-	-	12,628	-	-
第3四半期	78	-	-	8,964	-	-
第4四半期	81	-	-	18,272	-	-
通期合計	273	-	-	45,224	-	-

（修正前：2025年4月30日公表）

	案件数 計画値① (件)	案件数 実績値② (件)	②-① (件)	売上高 計画値③ (百万円)	売上高 実績値④ (百万円)	④-③ (百万円)
第1四半期	45	47	+2	5,356	6,020	+664
第2四半期	32	32	0	6,075	7,383	+1,308
第3四半期	<u>13</u>	-	-	<u>5,348</u>	-	-
第4四半期	30	-	-	<u>11,967</u>	-	-
通期合計	<u>120</u>	-	-	<u>29,411</u>	-	-

（修正後：本日2025年8月25日公表）

	案件数 計画値① (件)	案件数 実績値② (件)	②-① (件)	売上高 計画値③ (百万円)	売上高 実績値④ (百万円)	④-③ (百万円)
第1四半期	45	47	+2	5,356	6,020	+664
第2四半期	32	32	0	6,075	7,383	+1,308
第3四半期	<u>34</u>	-	-	<u>9,416</u>	-	-
第4四半期	30	-	-	<u>7,459</u>	-	-
通期合計	<u>141</u>	-	-	<u>30,278</u>	-	-

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。